

# 第13回 雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会(令和4年6月30日開催)

「雄物川圏域大規模氾濫時の減災対策協議会」における取組状況等の報告、減災対策協議会及び流域治水協議会の開催予定、各関係機関から話題提供を行い各々の取組について情報共有を図った。

- 雄物川水系・馬場目川水系の概ね5カ年で実施する取組のフォローアップ・R4取組計画・要配慮者施設避難確保計画等作成状況・洪水ハザードマップ周知等に関する取組状況について報告し、情報共有を図った。
- 今後の減災対策協議会、流域治水協議会の開催予定について報告した。
- 各関係機関からの話題提供(秋田地区河川防災ステーション等)を行った。

➢ 開催日 : 令和4年6月30日(木)

➢ 会場 : WEB会議システム

※:代理出席

- 委員構成 :
- |       |        |               |                        |                   |
|-------|--------|---------------|------------------------|-------------------|
| 秋田市長※ | 三種町長   | 羽後町長          | 農林水産省 西奥羽土地改良調査事務所長    | 国土交通省 秋田河川国道事務所長※ |
| 横手市長※ | 五城目町長※ | 東成瀬村長※        | 国土交通省 東北運輸局鉄道部長※       | 成瀬ダム工事事務所長        |
| 湯沢市長  | 八郎潟町長※ | 秋田県 総務部危機管理監※ | 気象庁 秋田地方気象台長           | 玉川ダム管理所長          |
| 潟上市長※ | 井川町長   | 農林水産部長※       | 東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社長※     | 湯沢河川国道事務所長        |
| 大仙市長  | 大潟村長※  | 秋田県建設部長※      | 東北電力株式会社 秋田発電技術センター所長※ |                   |
| 仙北市長※ | 美郷町長※  |               |                        |                   |



web会議の様子



大仙市長

湯沢市長

## 主な発言内容

- 大仙市長: 大仙市では排水ポンプ車の導入など内水対策に取り組んできたところであり、今後、他の対策について流域治水の考え方に基づき実施していきたいと考えている。田んぼダム、雨水貯留施設や遊水地の整備等について検討予定であり、今後の課題は要配慮者の避難の実効性確保で、個別避難計画の策定等に力を入れていきたいと考えている。また、河川防災ステーションの設置について、関係機関の指導を受けながら進めていきたいと考えている。
- 湯沢市長: 湯沢市では昨年からの地域の防災力向上を目的として「防災士の会」を立ち上げ、防災士24名で様々な活動を実施している。また、マイタイムライン作成講習も実施しており、今後は防災の出前講座や小中学校の授業でもマイタイムライン作成講習を実施し、災害時に住民の方が自ら避難行動が行えるように力を入れていきたいと考えている。
- 羽後町長: 羽後町では防災訓練や講話等の防災意識啓発を行う場面で、住民の皆様が住まれている地区の特性を理解していただけるような説明を行い災害や避難について「自分事」として認識していただくことに重点を置いている。防災訓練等を通じて行政と住民が顔が見える関係を構築できたことがうまくいった点である。
- 三種町長: 今年3月に地域防災計画の更新が完了したため、それを基軸に町の防災体制を強化していく予定である。今年度の取組として町の地域づくり活動支援事業と併せて秋田県の協力を得ながら自主防災組織の設立支援等を進めていきたいと考えている。住民の防災意識啓発を図り、災害時に自ら行動できるように地道に取組を進めていきたいと考えている。
- 井川町長: 他の自治体における取組について参考になる部分があったため、担当と引き続きどのようなことができるか検討していきたい。減災対策は行政だけではなく、地域住民と一緒に取組む必要があるため、コロナ禍であるが引き続き取組を進めていきたいと考えている。



羽後町長

三種町長



井川町長